

# 続 学校点描

新年の抱負の中で、学年代表の菅嶋  
絢さんが、“挑戦することは成長する  
ことだ”と語ってくれました。

《最上町立最上中学校》

NO.17 R7. 1. 14

担当：校長

第36回読書感想画中央コンクールにおいて、以下の生徒が素晴らしい成果を取めました。

【優秀】高橋千野さん「Many allies by your side」

【優良】中畠尊帆さん「平和への道」  
赤川菜々美さん「もらいもの」

【佳作】佐藤こはるさん、柴崎莉乃さん

JA共催山形県小中学校書道コンクールにおいても入賞の報告がありました。

【銀賞】佐藤 結唯さん

新年度を迎え、生徒たちはそれぞれ新たな気持ちで学校生活に臨んでいる様子がうかがえます。さて、このたび2A組の担任を務めていた渡部慶太先生が育児休暇に入ることとなりました。そのため、代替教員として高橋守先生と高橋賢一先生をお迎えしましたので、ご紹介いたします。

高橋 守先生は、かつて校長としてご活躍された経験豊かな先生で、昨年度は大堀小学校で勤務されておりました。守先生は毎週金曜日に授業をご担当いただきます。

高橋賢一先生は、長年最上中学校で体育を指導され、退職後も教育に携わっておられる熱心な先生です。賢一先生には月に約8回、授業を担当していただきます。

令和6年度もいよいよ最後の学期となりました。お二人の新しい先生方を迎え、職員一丸となって実りある学期を過ごしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## やるじゃん

京都で行われた研修会に自主参加しました。

研修が終わり、新幹線の時間に間に合うよう急いで地下鉄に乗り、京都駅へ向かいました。混み合う駅のホームで、階段を上っていると、下の方から少し荒っぽい女性の声が聞こえてきました。

「ちょっと！つぶされちゃうじゃん！押すなよ！！」



目を向けると、茶髪にピアスをいくつもつけた、今どきの姿をした十代の女の子が手すりをしっかりと握りながら怒っています。その子が体を張って守っていたのは、一人のおばあさんでした。

やっとのことで、おばあさんを階段の上まで押し上げると、その子は何事もなかったかのように友人と歩いていきました。

その姿を見て、本当に強い子というのはこういう子かもしれない、と思いました。誰に見られていようとまいと、自分の信念で行動できる子。どんな場面でもブレない強さを持った子です。意外と、こうした「強い子」は増えているのかもしれませんが。

学校長推薦の高校入試を受ける生徒たちには、校長室にて校長面談を行っています。校長として自信をもって推薦できる生徒かどうか知るためです。自分のアピールポイントともう少し成長が必要な部分について語ってもらいます。生徒は「長所と短所ですか？」と聞き返してきます。3年生の先生の指導もあるのか、長所も短所もしっかり自己認識していて安心しました。

もし、保護者の皆さんに「わが子について書いてください」と依頼したら、どんなことを書くでしょうか。プラス面とマイナス面、どちらが多いですか？

わが子の良さは、もしかすると目立たず分かりにくいかもしれませんが。それでも、「やるじゃん！」と言いたくなるような瞬間は、確かにあるはずです。

おばあさんを助けたあの女の子と友人が、私のそばを通り過ぎていきました。友人が彼女に「ほんと、世話好きだよね～」と言うと、彼女は「私、ばあちゃん子だったし、ばあちゃんが私をすごくかわいがってくれたんだ」と話していました。

その時、彼女の行動を見ていたのでしょうか、男性の若者が、彼女に声をかけて走り去っていきました。

何と言ったと思いますか？もちろん、あの言葉です。

「やるじゃん！」



きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。